

授業科目	科目概要・形式	配当年次	オンライン参加
看護コンサルテーション	2単位30時間(15コマ) 講義科目	博士前期1年次 前期開講	可・不可 「下記7.参照」
科目責任者	上泉和子		
担当者	上泉和子 川名典子 (非常勤・杏林大学大学院保健学研究科客員教授)		
1. 科目のねらい・目標			
看護分野におけるコンサルテーションの概念、実践モデル、コンサルタントの役割、およびコンサルティングのプロセスについて学ぶ。また、高度実践看護師の行うコンサルテーションおよび管理的コンサルテーションの実践について学ぶ。			
2. 授業計画・内容			
第1回、第2回	イントロダクション、コンサルテーション理論 (モデル、役割、フェイズとプロセス) (川名典子)		
第3回	コンサルテーションの実際の紹介 (高度実践看護師のコンサルテーション) (川名典子)		
第4回、第5回	コンサルテーション活動の演習 (模擬事例によるGW) (川名典子)		
第6回、第7回	仮想職務規定と仮想活動内容作成のグループワーク (川名典子)		
第8回、第9回	経験事例を基にしたディスカッションとスーパービジョン (川名典子)		
第10回	我が国のAPNの制度とCNS、NPの役割 (上泉和子)		
第11回、第12回	組織コンサルテーションの概要、組織コンサルテーションのプロセス (上泉和子)		
第13回、第14回	組織コンサルテーションの文化的影響、組織コンサルテーションの実際 (上泉和子)		
第15回	事例分析、ディスカッション (上泉和子)		
3. 教科書、参考書			
(参考書)			
<ul style="list-style-type: none"> ・Gordon Lippitt and Ronald Lippitt(1986):The Consulting Process in Action,2nd.Ed.Pfeiffer. ・パトリシア・アンダーウッド (1995) : コンサルテーションの概要—コンサルタントの立場から、インターナショナルナーシングレビュー、18(5) :5-12. ・上泉和子 (1995) : 看護組織へのコンサルテーションの実際、インターナショナルナーシングレビュー、18(5) :23-26. ・エドガー・シャイン著、稲葉元吉他訳(1993) : 新しい人間管理と問題解決、産能大学出版部. ・E.H. シャイン著、稲葉元吉他訳 (2002) : プロセスコンサルテーション—援助関係を築くこと、白桃書房. 			
4. 成績評価方法			
<ul style="list-style-type: none"> ・プレゼンテーションの内容 Presentation (20%) ・ディスカッションへの参加度 Participation in class (10%) ・レポート Report (70%) 			
5. 受講要件			
なし			
6. 社会人学生に対する配慮			
相談があれば個別に対応する。			
7. その他			

- グループワーク等は対面授業にて実施予定。
- 状況に応じて Webex meeting または Zoom を用いた遠隔講義を実施する。